



## ● 金属積層造形支援ソフトウェア

金属積層造形における  
形状安定化のためのソフトウェア

# 金属積層造形品の形状品質評価を行うことで生産性向上を図ります

本ソフトウェアは、金属積層造形品の設計モデルと実測モデルを比較し、その形状差異を評価するシステムで形状安定性に問題が生じる箇所を視覚的に全体俯瞰、かつ局所的に定量評価を行うことが可能です。

また、金属積層造形において造形歪みを回避するための要素としてサポート生成機能も今後提供予定です。

これらにより形状安定性の品質向上、さらには歩留まり改善による生産性向上を図ることが期待できます。

## ● 主要機能

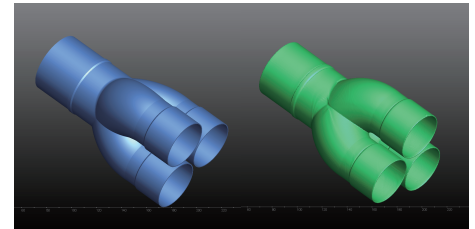
### 1 | 読込

設計情報、実測情報、および解析情報を読み込みます。

読込可能なデータ形式

設計情報：STL、IGES、OBJ、STEP、SOLIDWORKS

実測情報：STL、DICOM



設計形状

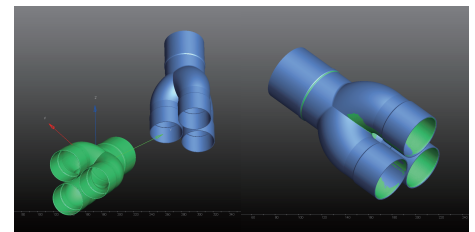
実測形状

### 2 | 位置合わせ

設計情報と実測情報の差を求めるためには、それぞれの原点と方向を合わせる必要があります。

本機能では原点と方向を指示することで、各形状の位置合わせを行います。

簡易な形状であれば、ボタン1つで位置合わせが可能です。



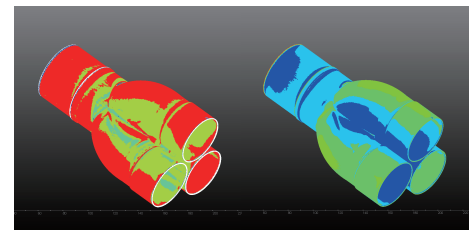
位置合わせ前

位置合わせ後

### 3 | 計算

設計情報と実測情報の各肉厚を計算するだけでなく、肉厚の差を確認することができます。

また、設計形状の表面と実測形状の点との最短距離も求めることができます。



肉厚の差

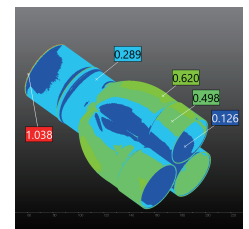
距離

### 4 | レポート作成支援

レポート作成用に吹き出し機能と視界機能を準備しています。

吹き出しでは肉厚や設計形状と実測形状の差異を数値で作成することができます。

また、視界では任意の方向と表示サイズ、吹き出しを作成した画面の表示状態（視界）を保存することも可能です。



吹き出し

## ● 動作環境

OS : Windows10 (64bit)

GPU : NVIDIA 社グラフィックボード推奨

その他 : Microsoft .Net Framework 4.5 以上 (無料)

OpenGL 3.x 以上

メモリ 8GB 以上 ※使用環境によってはメモリ不足になる可能性があるため 16GB 程度を推奨